

新年のご挨拶

太田市医師会長 小島 章

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が平和で、平穏な年であることを心より祈念しております。

今年は新内閣が発足し、国の山積する諸課題の解決に向け、政治の混迷・不安定、経済の低迷・デフレ・不況、外交の不手際、古くなったインフラの再生、国力の低下等が問題です。国益とは何かを真剣に考え、まず、日本の国土と国民の自由と生命を守ることが大切です。多くの政党の、合従連衡後の総選挙により、誰が新総理大臣になっても、日本の舵取りは大変難しいものがあると思われまます。夏には参議院の選挙があります。我々は、医療人の使命と良心により、社会保障の充実と、国民皆保険制度を守ることが重要です。初夢で負担を心配することなく治療を受けられる医療現場の現実化を見たいものです。公的医療保険制度のある先進国と同じようになりたいものです。病気になってもお金が心配で、我慢をして受診抑制となり、医療費を無理に切りつめることは命に関わります。受診が遅れ重症化するほど医療費はかかります。今年度より、1年ごとに70歳から74歳の方の窓口負担を、1割から2割に倍増すると、結果として約500万人以上の高齢者に負担を強いることが危惧されます。少子高齢化が進むなか、地域のニーズに合わせて、最適な、質の高い地域医療の提供を図り、地域に密着した活動をしたいものです。

さて、太田市では昨年6月、太田記念病院が移転新築し、救急医療の拠点となり、他の救急5病院と共に連携活動し、更に救急医療の充実することを願っております。太田市平日夜間急病診療所も、54人の多くの会員の協力により、一定の役割を果たしております。太田市医師会は、新公益法人化への対応として昨年5月の臨時総会において、非営利の一般社団法人になることを議決し、本年4月1日、新法人として登記を予定しております。また、新医師会館を、元の市民会館の跡地に、太田市保健センターと平日夜間急病診療所と合築することが、平成23年5月の定期総会において議決され、昨年4月より協議折衝を重ね、基本設計、本設計へと進み、今年、太田市の3月議会の議決を経て、4月着工、12月完成予定、平成26年4月、運用開始予定です。

今後とも我々は地域医療の充実に努め、住民の方々の生命と健康を守る使命を全うすべく精励する所存でありますのでご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、群馬県医師会、太田市医師会、関係各位のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

平成25年1月